

# 第3次亀岡市環境基本計画 取組状況報告書

令和4年度

亀岡市

# 第3次亀岡市環境基本計画施策体系図

市民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じて、  
環境に配慮した行動をパートナーシップによって実践



目指すべき  
環境像

未来につなごう 世界に誇れる持続可能な環境先進都市 かもおか

重点目標

1. 二酸化炭素排出量実質ゼロのまちづくり
2. 使い捨てプラスチックごみゼロのまちづくり
3. 亀岡ブランドの創造による地域経済が循環するまちづくり
4. ごみを減らして資源を有効活用するまちづくり
5. 多様な生きものと共生できるまちづくり

施策分野

 <p><b>1 脱炭素化の推進</b></p> 	<p>(1) エネルギーの地産地消 (2) 再生可能エネルギーの導入拡大 (3) 省エネルギーの促進 (4) 環境に配慮した交通手段の推進 (5) 気候変動対策の推進 (6) 多様なエネルギーの調査・研究</p>	 <p><b>4 自然との共生</b></p> 	<p>(1) 生物多様性の保全 (2) 水環境の保全 (3) 森林環境の保全 (4) 農地の保全</p>
 <p><b>2 資源循環型社会の形成</b></p> 	<p>(1) プラスチックごみ対策 (2) 3Rの推進 (3) 食品ロスの削減 (4) 廃棄物の適正処理 (5) 有機性廃棄物のたい肥化</p>	 <p><b>5 亀岡ブランドの創造・発信</b></p> 	<p>(1) 農産物の付加価値の向上 (2) エコツーリズムの展開 (3) 環境配慮型の新たな創業支援 (4) サーキュラーエコノミーの普及啓発 (5) (仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設の整備</p>
 <p><b>3 生活環境の保全</b></p> 	<p>(1) 環境汚染防止対策の推進 (2) 不法投棄対策・ポイ捨て対策等の推進 (3) まちなかの緑化 (4) ふるさとの保全</p>	 <p><b>6 環境意識の普及啓発</b></p> 	<p>(1) 環境に配慮した取組の実践 (2) 環境教育・環境学習の推進 (3) 協働による環境活動の推進 (4) 企業とのパートナーシップの構築 (5) 多文化共生における環境啓発の推進</p>

# 1 脱炭素化の推進

No.	施策	市の取組
1	エネルギーの地産地消	地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー(株)」と連携し、市上下水道庁舎に太陽光発電システム及び蓄電池の設置を行いました。また、同社の公共施設や事業所への電力供給件数の拡大に努めました。 【自家消費型太陽光発電事業の契約件数:1件、公共施設・事業所への電力供給契約件数:72件】
2	再生可能エネルギーの導入拡大	住宅用の太陽光発電システムと蓄電設備を同時設置する市民へ助成を行い、再生可能エネルギーの導入を支援しました。 【亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金:実績41件】  公共施設におけるエネルギー使用量の削減、電力使用の抑制、本市の事務事業におけるごみの排出量の削減に努めました。 【亀岡市役所における温室効果ガス総排出量(CO2):18,288t-CO2】
3	省エネルギーの促進	国の進める「COOL CHOICE」など脱炭素の取組を周知するとともに、みどりのカーテン事業として、「かめおか緑花フェア」でゴーヤ苗の配布を行い、栽培記録を市HPやSNSで発信しました。
4	環境に配慮した交通手段の推進	交通事業者と連携したまちづくりを推進しました。また、自動車利用を抑制するエコ通勤等に取り組みました。 【1日あたりのバス利用者数 令和3年度 3,488人※令和4年度数値集計中】  道路事業(26路線)を実施し、道路環境の改善に努めました。  公用車の買い替えにあたり、環境負荷の少ない低燃費車1台を購入しました。
5	気候変動対策の推進	気候変動対策に取り組み、持続可能でレジリエントな地域づくりを目指すため、国際的な枠組みである「世界首長誓約/日本」に署名しました。  地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー(株)」と連携し、市上下水道庁舎に太陽光発電システム及び蓄電池の設置を行いました。(再掲)  令和32(2050)年における市域の脱炭素化を見据えた「亀岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(かめおか脱炭素未来プラン)を策定しました。
6	多様なエネルギーの調査・研究	亀岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定とともに、市域の再生可能エネルギーのポテンシャル調査を実施しました。

## 2 資源循環型社会の形成

No.	施策	市の取組
1	プラスチックごみ対策	<p>亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行を受け、使い捨てプラスチックごみ削減の取組を進めました。 【エコバッグ持参率:98%】</p>
		<p>企業等と連携し、マイボトルの普及促進・持参率向上に向けた啓発事業等を実施するとともに、公共施設や小・中学校・義務教育学校への給水機の設置を進めました。 【マイボトル持参率:70%、給水機設置台数:16台】</p>
		<p>環境に配慮したサービスを提供するお店「リバーフレンドリーレストラン」の認定など、市内飲食店等とともに、使い捨てプラスチックごみの削減に取り組みました。また、市内飲食店等と協力して、無料で給水できる場所(給水ポット)の拡大を推進します。 【リバーフレンドリーレストラン:25カ所、給水スポット:83カ所】</p>
		<p>イベントの主催者及び出店者に対してリユース食器利用促進補助金の交付を行い、イベントで出るごみ及び使い捨てプラスチックごみの削減を図りました。 【補助金交付件数:6件】</p>
		<p>ごみを出さないスーパー「(株)斗々屋」との協定に基づく量り売り体験開催(ポップアップの出店)により、消費者と小売事業者に対してゼロウェイストに関する関心・認知の拡大を図りました。</p>
		<p>「川と海つながり共創プロジェクト」と連携し、環境展示会への出展等による情報発信や、「こども海ごみ探偵団」をはじめとする環境学習を通じ、海洋ごみや河川ごみの発生抑制に向けた環境保全啓発活動を行いました。</p> <p>イベント時等において企業と連携した啓発に努め、使い捨てプラスチックごみゼロの意識向上を図りました。また、生分解性素材を活用した農業分野等での廃プラスチック削減の実証実験を行いました。</p>
2	3Rの推進	<p>ごみ資源化の推進に向けて、分別収集計画を作成(分別拡大15品目→18品目)するとともに、排出・収集方法変更の検討及び市民周知(説明会)を実施しました。 【ごみの総排出量:24,196t、資源化率:16.68%※令和3年度実績、令和4年度分は集計中】</p>
		<p>市の物品調達基金で取り扱う事務用消耗品は、すべてエコ・グリーン製品等を購入しました。</p>
3	食品ロスの削減	<p>食品ロス削減推進計画を作成し、亀岡市循環型社会推進審議会への諮問を行いました。</p>
4	廃棄物の適正処理	<p>亀岡市ゼロエミッション計画を作成し、亀岡市循環型社会推進審議会への諮問を行いました。</p>
		<p>公共工事の廃棄物の再資源化が適正に処理されているかどうか、検査時における完成図書の各書類から、確認を行いました。また、設計図書(特記仕様書等)に明記して対応したほか、コンクリートがら・アスファルトがらを再資源化施設へ搬入するなど、常に廃棄物の適正処理を実施しました。</p>
5	有機性廃棄物のたい肥化	<p>ごみの減量化を推進するため、せん定枝及び草の分別収集の検討及び循環型社会推進審議会への諮問を行いました。</p>
		<p>生ごみ処理容器(コンポスト)の購入代金の一部を助成することで、一般家庭から排出されるごみの減量化を推進しました。</p>

### 3 生活環境の保全

No.	施策	市の取組
1	環境汚染防止対策の推進	<p>各河川の水質検査を継続実施するとともに、水質の現状を的確に把握して、水質の保全に努めました。 【水質検査の実施:35定点/2回、9定点/4回】</p> <p>市街化区域における環境基準の適合状況を把握するため、環境騒音測定を実施しました。また、市内の主要幹線道路においても自動車騒音測定を実施しました。 【環境騒音測定1回/年、自動車騒音測定1回/年】</p> <p>京都府や関係機関等と連携し、情報を収集・共有することで、土壌汚染の未然防止及び早期発見、大気環境の保全等に努めました。</p> <p>浄化槽普及推進地域において、補助制度を活用しつつ、個人設置型浄化槽の設置を進めました。また、浄化槽の適正な維持管理をはじめ、水環境の保全の重要性について、チラシ配布等の啓発に努めました。 【浄化槽処理人口:3,706人】</p> <p>下水道供用開始区域内において、未水洗化世帯を対象に戸別訪問及び啓発チラシの配布を行い、水洗化率が前年に比べ0.1%増加しました。 【水洗化率:96.3%】</p>
2	不法投棄対策・ポイ捨て対策等の推進	<p>市街地や山間部において、不法投棄パトロールを実施し、不法投棄監視体制を強化するとともに、市民の関心を高め、美化意識及びモラルの向上を図りました。 【監視パトロール:96日/年、監視カメラの運用等による監視及び未然防止:6台、不法投棄監視ウィーク等における啓発活動の実施:30日/年】</p> <p>ポイ捨て防止重点地域において、ポイ捨て等禁止指導員による監視パトロールを実施しました。 【ポイ捨て禁止指導員によるポイ捨て防止重点地域の監視パトロール:282日/年】</p> <p>「かめおか環境デー」など清掃活動イベントを実施し、美化活動を促進しました。</p> <p>市主催の清掃活動やイベント等において、「エコウォーカー」への登録を募るとともに、市内保育所・幼稚園・こども園において、「エコウォーカーキッズ・チャレンジプログラム」を実施しました。 【エコウォーカー登録者数:1,613人】</p> <p>空き家・空き地バンク制度を運用し、移住者などの定住を促進することで、地域の活性化を図りました。 【空き家・空き地バンク新規物件登録数:40件】</p> <p>管理不良の空き家に対する改善指導として、現場調査を24件実施し、空き家の適正管理に関する通知を行いました。</p>
3	まちなかの緑化	<p>良好な景観形成をするための活動を行う団体(NPO法人亀岡・花と緑の会)へ助成金を交付しました。 【亀岡市景観まちづくり市民団体の認定件数:1件】</p> <p>緑化推進意識の向上を図るため、かめおか緑花フェアを開催しました。 【2022かめおか緑花フェア来場者数:約500人】</p> <p>地域との協働による花と緑のまちづくりを推進するため、「わがまちの花づくり推進事業」補助金を交付しました。 【補助金交付団体数:15団体】</p> <p>亀岡駅北1号2号4号公園の供用を開始しました(1号公園:6,526㎡、2号公園2,517㎡、4号公園1,425㎡)。また、保津川水辺公園の供用面積の増加を図りました(3,108㎡)。 【一人当たりの公園整備面積:8.4㎡】</p>
4	ふるさとの保全	<p>市内の文化財の保存や活用に関する将来的なビジョンや具体的な事業などを定める亀岡市文化財保存活用地域計画を策定しました。 【文化財保護法第93条「埋蔵文化財発掘の届出」件数:168件】</p>

## 4 自然との共生

No.	施策	市の取組
1	生物多様性の保全	<p>アユモドキが生息する河川へ外来魚が侵入しないよう、NPOや保全団体と連携し、ため池での外来魚の侵入防止、駆除活動を実施し、アユモドキの保護に努めました。</p> <p>特定外来生物法に基づく捕獲檻の貸し出しを行い、アライグマおよびヌートリアの捕獲・処分を適正に実施しました。</p> <p>安定したアユモドキの生息環境を創出するため、アユモドキの実験池の整備など保護保全活動を実施しました。 【繁殖に参加するアユモドキ親魚の数:609匹】</p> <p>生物多様性について考える機会として「NPO法人亀岡人と自然のネットワーク」と連携し、「みんなでアユモドキを守ろう！親子観察会」などのイベントを複数回開催しました。</p>
2	水環境の保全	<p>「川と海つながり共創プロジェクト」と連携し、清掃活動をはじめ、情報発信や環境学習を通じた啓発事業を実施し、保津川流域の水環境の保全を行いました。 【保津川クリーン作戦実施回数:21回】</p> <p>市民参加型の一大清掃イベント「保津川の日」を開催し、市民の間での環境美化に対する意識の高揚を図りました。</p> <p>河川の重要性を認識し、河川愛護意識を高めるため、愛護月間にあわせて公用車に啓発用マグネットシート取付・市庁舎前に懸垂幕掲出、広報かめおか掲載に取り組みました。</p>
3	森林環境の保全	<p>森林組合等対しに利用間伐推進を行いました。また、森林ボランティアに補助金を助成し市民による森づくりの推進を行いました。</p> <p>新生児に贈る「木育誕生祝品」について、市内工房に発注することにより、地元府市内産の木材を利用した木製品の消費推進を行いました。</p>
4	農地の保全	<p>国営緊急農地再編整備事業の導入による未整備田の整備を促進するため、未着工地区3地区のうち、1工区は換地計画原案の同意徴集が済み、2工区について原案同意の徴収中となりました。</p> <p>農地の保全に向けた取組として、農業の多面的機能を維持し、中山間地域における農業の継続を支援するため、多面的機能支払交付金事業における対象農地209,687aの保全・活用を行いました。</p> <p>有害鳥獣防護柵の設置、有害鳥獣の捕獲・駆除等を総合的に実施し、被害防除対策と野生動物管理を実施しました。</p>

## 5 亀岡ブランドの創造・発信

No.	施策	市の取組
1	農産物の付加価値の向上	<p>化学肥料や農薬を使用せず、自然と共生しながら行う有機農業を推進するため、亀岡市有機農業推進実施計画(計画期間:令和5年度～9年度)を策定したほか、「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。</p> <p>地産地消や「食」と「農」をテーマにしたイベントアグリフェスタを開催し、亀岡産農産物をPRしました。また、「軽トラ市」を開催し、直売所の地元産野菜を知ってもらうきっかけづくりを行いました。</p> <p>亀岡市有機JAS認証取得支援事業補助金を5件交付しました。また、亀岡市有機農業推進実施計画(計画期間:令和5年度～9年度)を策定しました。</p>
2	エコツーリズムの展開	<p>観光を楽しみながら環境を学び、体験を通じて参加者の環境への意識を醸成するため、「かめおか保津川エコツアー等支援事業補助金」の交付などを行いました。</p> <p>「川の駅・亀岡水辺公園」通常営業の他、施設を活用した教育旅行誘致を目指す実証実験を含め、計7件のイベントを実施しました。</p> <p>亀岡での滞在を通して土地や人と出会い、つながりを体験する新たな旅行スタイルを提供する「Harvest Journey Kameoka」プロジェクトを実施しました。</p> <p>エコツーリズムの展開を通じ、亀岡の魅力の再発見、再構築に努めました。 【自然体験型アクティビティ関連施設の観光入込客数:22,000人】</p>
3	環境配慮型の新たな創業支援	<p>本市のプラごみゼロ理念を発信するブランドマーク、「世界に誇れる環境先進都市かめおか」の啓発シンボルとして、「環境ロゴマーク」を各種印刷物等に使用するとともに、環境展示会において発信しました。 【環境ロゴマークの使用申請数:12件】</p> <p>亀岡発のアップサイクル製品である「HOZUBAG」の販売を通じ、環境に配慮した商品のPRを図ることができました。 【亀岡発のアップサイクル製品による被雇用者数:8人】</p> <p>亀岡市内における事業者数の増加を目指し支援を行った結果、新たに3事業者が創業するに至りました。 【新規企業数:令和3年度から延べ23事業者】</p>
4	サーキュラーエコノミーの普及啓発	<p>環境に関する協定を締結している企業と連携し、ペットボトルやステンレスボトルの再資源化を図るとともに、各家庭で不要となった物のリユースを推進しました。</p> <p>事業系一般廃棄物における再生可能資源の調査及び試行的な資源循環の検討(学校給食センターの調理残渣の堆肥化)を行いました。</p>
5	(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設の整備	<p>本市が取り組む環境施策について、市民一人ひとりや全国に広く情報発信できるよう施設とするために、基本設計・実施設計を完了しました。</p>

## 6 環境意識の普及啓発

No.	施策	市の取組
1	環境に配慮した取組の実践	<p>自然保育を実施している4園で、月に1回有機野菜を取り入れた給食を実施したほか、12月からは月に1回全園で有機米給食を実施しました。また、保津保育所では、保津小学校周辺や保津小橋・保津大橋付近、かめきたサンガ広場などで子どもたちによる清掃活動「エコウォーカーキッズ」の活動を実施しました。 【エコウォーカーキッズの活動回数:10回】</p>
		<p>令和3年度はコロナ禍ということもあり地球環境子ども村事業「生き物大学」は実施されず、「生き物大学特別講座」のみ実施しました。令和4年度には「生き物大学」を初級だけ実施し、特別講座も例年どおり実施することができました。 【生き物大学参加者:678人】</p>
		<p>消費者として、商品・サービス等に関する知識を深め、自覚を高めることによって、環境に配慮し、安全で安心な消費生活を送れるよう、「消費者大学」を開催しました。また、消費者のライフスタイルにあった消費生活設計や商品サービス等に関する知識を深め豊かで合理的な生活を送るため親子で学び、安全・安心で健康的な生活を推進するため「親子消費者教室」を開催しました。 【消費者大学:4講座開催、延べ参加者79名/親子消費者教室:1回開催、参加者19組34名】</p>
		<p>亀岡市立の全小・義務教育学校前期課程の4年生に、亀岡への郷土愛や環境に対する心を育むエコラフティング事業を実施、全中・義務教育学校後期課程2(8)年生に、保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業を実施しました。</p>
		<p>市立図書館において、環境問題への意識啓発のために、環境関連図書・自然科学分野関連図書の収集に努め、6月に中央館及び分館・分室で環境月間の展示を行いました。</p>
		<p>市文化資料館において、歴史的・文化的な景観の啓発に関する出前授業、出前講座を行いました。 【歴史的・文化的な景観の啓発に関する出前授業・出前講座:54件】</p>
2	環境教育・環境学習の推進	<p>市立小・中・義務教育学校全校で映画「マイクロプラスチックストーリー」の視聴を実施しました。また、環境に配慮した取組を行う企業などと連携し、教育プログラムを開発し、市立中学校2校で講演会を開催するなど、映画視聴と併せて環境学習を進めました。</p>
		<p>環境問題に取り組む市民団体への支援金交付を行い、市民主体の活動を支援しました。 【支援金交付団体:2団体、交付額:600,000円】</p>
3	協働による環境活動の推進	<p>環境保全活動に取り組むNPO法人等市民活動団体への支援として、相談・アドバイス、情報発信等を実施しました。 【かめおか市民活動推進センターの利用者数:8,855人、相談件数:19件】</p>
		<p>市文化資料館において、小中学生を対象とした親子体験会を実施しました。「保津川図屏風」の作者である円山応挙の作品を通して、保津川について理解を深める機会を設けました。</p>
4	企業とのパートナーシップの構築	<p>環境に配慮した取組を行う企業や団体との取組・連携強化に努めました。 【環境パートナーシップ提携企業数:70社】</p>
		<p>亀岡市の公式SNS等でエコマルシェの情報を市内外に発信し、リユース食器の利用促進、ごみを出さない取組をPRしました。</p>
5	多文化共生における環境啓発の推進	<p>市が設置した「かめおか多文化共生センター」は、年間を通して347日開所しており、外国人住民の様々な要望や困り事などに対して関係機関と連携を取りながら、迅速に対応を行いました。また、広報かめおかに「多文化共生コラム」という枠を設け、1年間を通して多文化共生の意識醸成につながる記事を掲載しました。</p>



## 主な成果指標 まとめ

計画で定める主な成果指標				
指標	R2度実績	R3度実績	R4度実績	R13度目標
自家消費型太陽光発電事業の契約件数	0件	1件	1件	10件
公共施設・事業所への電力供給契約件数	50件	57件	72件	100件
太陽光発電システム及び蓄電池を設置済みの公共施設数	5施設	5施設	6施設	100施設
亀岡市役所における温室効果ガス総排出量	20,130t-CO2	19,893t-CO2	18,288t-CO2	12,253t-CO2
省エネ診断の実施施設数	4施設	4施設	4施設	100施設
ESCO事業導入施設数	0施設	0施設	0施設	20施設
市の公用車への電気自動車等の導入台数	2台	5台	6台	10台
市内全体の温室効果ガス年間排出量 ※令和4年度策定「かめおか脱炭素未来プラン」のR2度実績及びR13度目標数値を使用	380千t-CO2	集計中	集計中	278千t-CO2
エコバッグ持参率	98%	98%	98%	100%
給水機の設置台数	7カ所	7カ所	16カ所	70カ所
マイボトル持参率	66%	70%	70%	100%
給水スポット	14カ所	88カ所	83カ所	100カ所
リバーフレンドリーレストラン	7カ所	14カ所	25カ所	30カ所
ごみの総排出量	24,815t	24,196t	集計中	21,511t以下
資源化率	16.69%	16.68%	集計中	20.5%以上
水洗化率	95.9%	96.2%	96.3%	97.0%
浄化槽処理人口	3,944人	3,800人	3,706人	4,144人
エコウォーカーの登録者数	251人	1,110人	1,613人	5,000人
「かめおか緑花フェア」(旧花と緑のフェスティバル)入場者数	10,000人(R1度)	コロナのため中止	約500人	15,000人
「花と緑のまちづくり」補助金交付団体数	16団体	16団体	15団体	22団体
亀岡市景観まちづくり市民団体の認定件数	1件	1件	1件	3件
一人当たりの公園整備面積	8.0㎡/人	8.3㎡/人	8.4㎡/人	13.0㎡/人
文化財保護法第93条「埋蔵文化財発掘の届出」件数	162件	166件	168件	200件
繁殖に参加するアユモドキの親魚の数	166匹	166匹	609匹	500匹
保津川クリーン作戦実施回数	8回/年	18回/年	21回/年	12回/年
農地基盤整備事業進捗率	61%	61%	64%	76.1%
保育所・こども園給食での有機農産物導入園数	0園	0園	4園	8園
有機JAS認証農家数	6	7	7	26
農業産出額	63億円(2017年)	58億円	62億円	70億円以上
「Harvest Journey Kameoka」プロジェクトの年間売上総額	-	87,798円	28,310円	800万円以上
環境ロゴマークの使用申請数	16件	延べ37件	延べ49件	延べ200件
亀岡発のアップサイクル製品による被雇用者数	-	8人	8人	10人
新規起業数	14事業者	延べ20事業者	延べ23事業者	延べ30事業者以上
歴史的・文化的な景観の啓発に関する出前授業・出前講座	22件	25件	54件	50件
環境パートナーシップ提携企業数	33社	62社	70社	200社